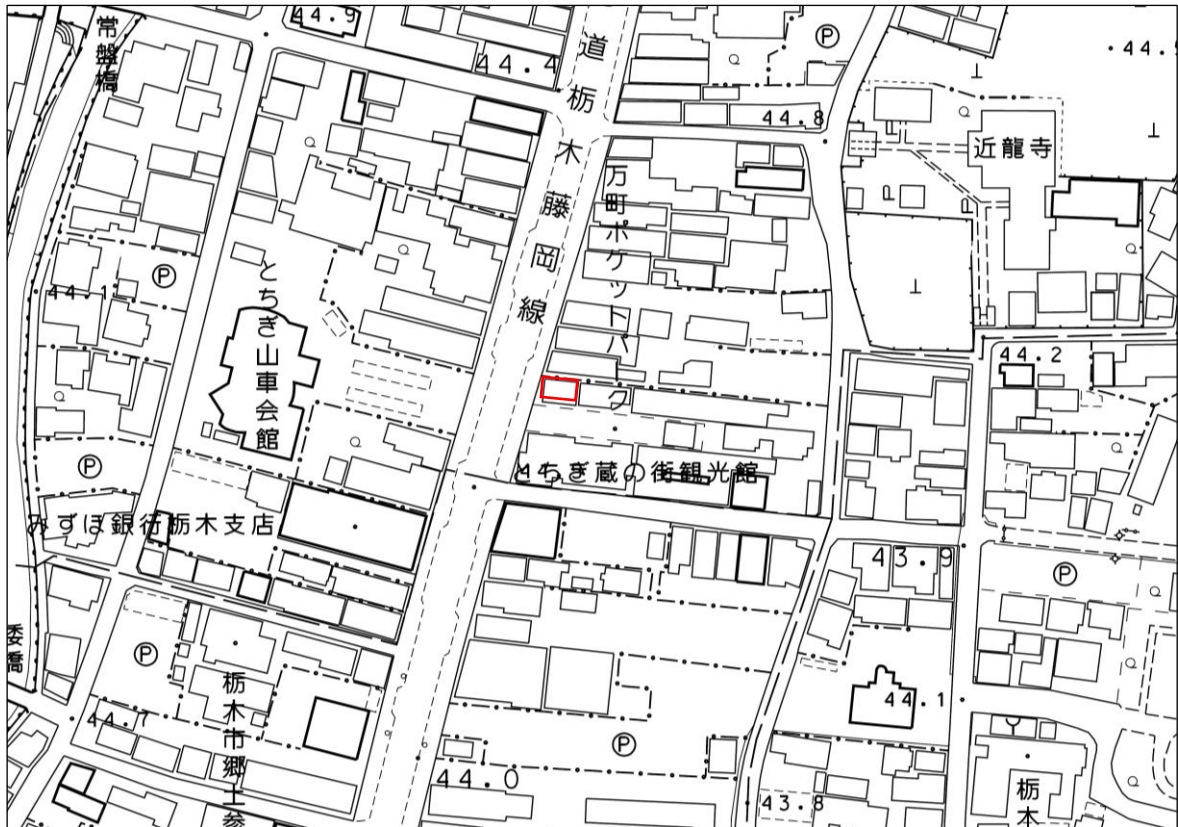


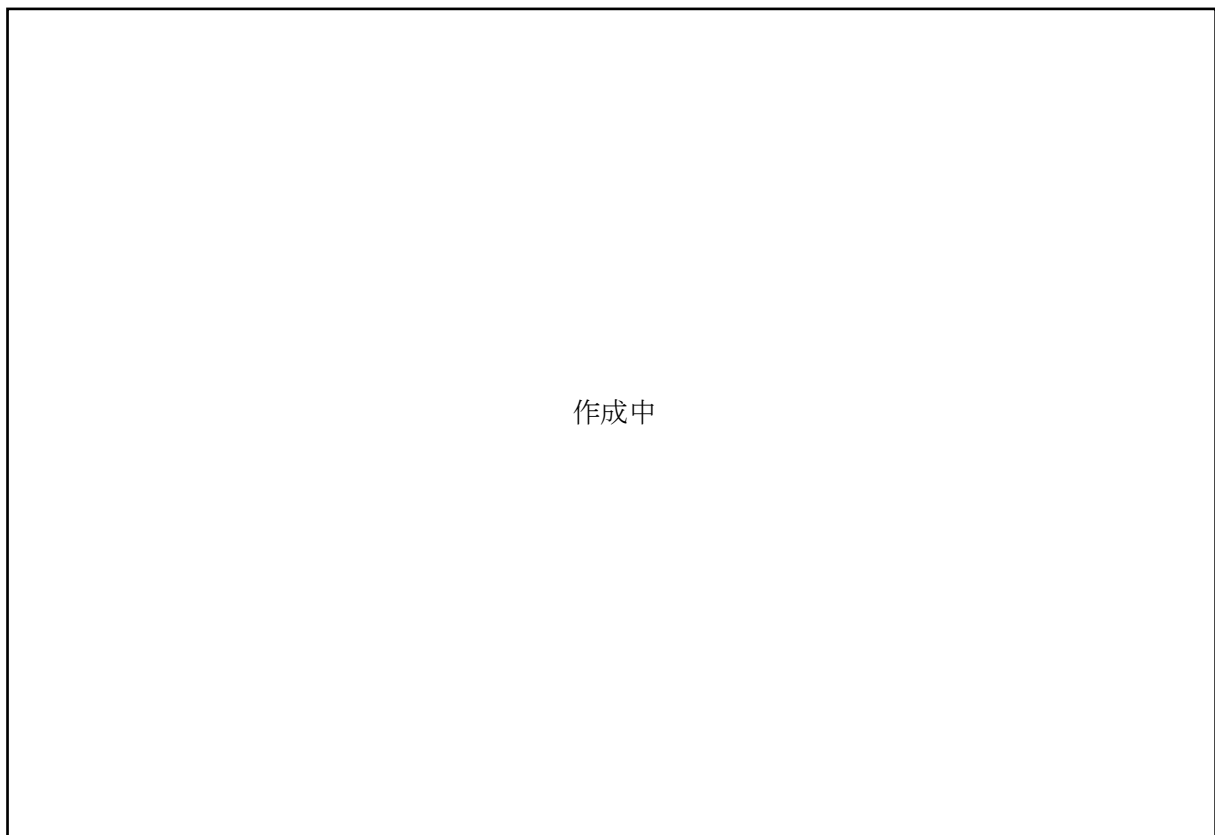
歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	18	名称	好古壺番館 【旧安達呉服店】
指定年月日	令和3年6月1日	所在地	栃木市万町342番地1
建築年代 (根拠)	大正12年(1923) (建築様式)	規模・構造	木造 銅板葺 2階建
特徴等	<p>大通りに面した短冊状の敷地に洋館をはじめ、木造住居、土蔵6棟が軒を並べる。敷地内に残る建物は時代と共に使われ方が大きく変わり、増改築が繰り返されているが、全ての建物は取り壊されることなく現存している。大正9年(1920)から昭和34年(1959)にかけ洋館、土蔵で呉服問屋を営んでいたが世代交代や客数の減少などの理由により、昭和34年から洋館を、昭和37年(1962)からは洋館と木造住居を貸すようになり、両建物は何度も増改築が繰り返されることになる。洋館は、増改築により面被りがつくが、現在は修景事業により取り除かれている。</p> <p>(「栃木の町並み景観」より抜粋)</p>		
形成する歴史的風致 (指定理由)	<p>商家町栃木にみる歴史的風致(栃木の山車祭りにみる歴史的風致) 山車祭りの舞台である歴史的な町並みを構成する建造物であり、歴史的建造物が建ち並ぶ町並みを背景に山車が巡行する。</p>		
備考	登録有形文化財(平成12年(2000)10月18日)		





好古壺番館 案内図



配置図